

外来で診る 子どもの発達障害

どこまでどのように診るか?

目次

● はじめに	市河茂樹	3
--------------	------	---

第1章 こんな相談をされたら、どうする？

～発達障害で見られる症候と初期対応～

市河茂樹

0 発達の相談をされたら～Universal Approach～	10
1 「言葉が出ません／保育園で“言葉が遅れている”と言われました」	13
2 「発達障害じゃないでしょうか」	22
3 「コミュニケーションが苦手みたいです」	29
4 「人の話を聞きません／言うことが伝わりません」	36
5 「多動です／集中力がないようです」	41
6 「集団行動が苦手なようです」	48
7 「感覚が過敏／鈍いみたいです」「不器用／運動が苦手です」	55
8 「こだわりが強いです」	63
9 「乱暴で困ります」	69
10 「勉強が苦手みたいです」	77
11 「行動の切り替えができない／時間の概念が乏しいようです」	88
12 「就学相談の判定について医学的な意見を聞きたい」	95

第2章 外来で相談にのる前に これだけは知っておこう

市河茂樹

1 自閉スペクトラム症（ASD）の基礎知識	103
2 注意欠如・多動性障害（ADHD）の基礎知識	114
3 知的能力障害（ID）の基礎知識	124

4	非専門医でも発達障害を診断できる？～検査と診断を考える～	135
5	発達障害診療の原則	142
6	薬物治療はどうする？	148
7	外来で使える基本的な介入スキル	158

第3章 発達障害の初期診療

～診療の型を作ろう～

市河茂樹

1	「気になる子ども」を見かけたら	169
2	初回診察～効率的な情報収集～	172
3	発達障害診療もSOAP～アセスメント～	177
4	家族への説明	182
5	具体的な治療的介入とアセスメントの見直し	188

第4章 地域で発達障害を診る

～発達障害診療の「道」を作ろう～

1	発達障害児にソーシャルワーカーができること	大森 匠 195
2	発達障害診療における外来看護師の視点	メ野文子 204
3	教育と医療の連携①～医療の立場から～	市河茂樹 209
4	教育と医療の連携②～教育の立場から～	押元香織 217
5	発達障害の家族会	メ野文子 224
6	多職種の連携と役割分担	市河茂樹 230

第5章 発達障害診療は

続いていく

市河茂樹

1	初期診療と定期通院	237
2	発達外来を覗いてみよう～子どもへの告知～	243
3	大人になる準備～発達障害診療のギャラクシ～	250
4	成人診療科への移行（トランジション）	260

付録

DL可

1	家族向け発達問診票	266
2	学校向け発達問診票	269
3	家族向け説明文	271
a	「言葉が遅いかな？」と思ったら？ おうちでできる言葉の発達を促す方法	
b	コミュニケーションが苦手かな？ と思ったら	
c	「わかりやすい生活」のススメ	
d	「ほめる／無視する／制止する」のススメ	
e	「トーケンエコノミー」やってみませんか	
f	「かんしゃくにタイムアウト」	

巻末資料

1	小児の発達早見表	284
2	小学校の学年別学習内容	286
3	発達障害児に関わる主な社会福祉制度	288

●	あとがき	市河茂樹 290
●	索引	291